

例 言

- 1 本書は京都府相楽郡木津町、奈良市にまたがって、日本住宅公団がおこなう平城ニュータウン造成計画地内に所在する遺跡の、1973年度の調査の概報である。
- 2 この調査は京都府教育委員会、奈良県教育委員会が日本住宅公団より委託を受けたものを、奈良国立文化財研究所平城宮跡発掘調査部へ依頼して実施したもので、その調査費用は、日本住宅公団大阪支所の負担による。
- 3 今回の調査は、1964・1965年におこなった分布調査にもとづいて、今後の調査および保存計画を立案するための予備調査であり、1972年度に調査できなかった部分の調査である。調査は遺跡の性格・範囲を知ることに重点をおき、最少限度の発掘にとどめた。
- 4 分布調査をおこなった時点では、ニュータウン計画の事業地範囲が未確定であったため、若干の周辺部を含めて、事業地内に所在する遺跡に通し番号をつけた。今回の調査にあたってこの番号を使用した。なお、24号地点のように新たに発見された遺跡についても、通し番号を付した。
- 5 本書は、奈良国立文化財研究所平城宮跡発掘調査部で執筆編集した。